

教育関係諸法  
学習指導要領  
東京都教育目標  
檜原村教育目標

## 学校教育目標【(育成を目指す資質・能力)】

- ・進んで学ぶ子【学ぶ楽しさを知り、自ら学びに向かう子供(問題解決力)】
- ・思いやりのある子【自己肯定感を基に自他を大切にし、人間関係を形成していく子供(人間関係形成力)】
- ・たくましく生きる子【強い意志をもち、何事においても最後まで努力し続ける子供(七転び八起の力)】

## ＜檜原学園教育目標＞ 第三期計画2年度

檜原学園に学ぶ一人一人が、郷土檜原の誇りを胸に、9年間の学びを深め、持続可能な社会の創り手となり、希望に満ちた世界を創る人材(グローバル人材)となることを目指し、ここに檜原学園教育目標を定める。

「学びをつないで、  
持続可能な社会の創り手を育てる」

＜学園訓＞  
「つなく つなげる つながる」

## 特色ある教育活動

### 体験のシャワー

1. 基礎学力向上に向けた取組
  - ・授業のユニバーサルデザイン化
  - ・村学力テスト、漢検、英検 Jr
  - ・群読朝会 ・落語教室
  - ・親子読書旬間
  - ・俳句 ・読み聞かせ
  - ・eライブラリ等の活用
  - ・「書く」活動 ・振り返りの重視
2. 縦割り班や異学年交流の充実  
他地域の学校との交流
3. 外国語・外国語活動の充実
  - ・ALTや中学校教員との連携
  - ・TGG訪問(4年、6年)
  - ・英語を取り入れた活動の充実
4. 音楽活動の充実
  - ・連合音楽会(合唱・合奏等)
5. 体力向上・食育・健康教育
  - ・マラソン大会 ・駅伝大会
  - ・元気アップウイーク ・Lあそび
  - ・体育集会の工夫 ・100m走
  - ・歯科指導 ・栄養士による食育
6. 小中保の連携
  - ・社会に開かれた教育課程 SDGs
  - ・特別支援教育の充実
7. 高齢者福祉施設との交流
8. ふるさと檜原学習
  - ・ひのはら科の実践(低学年)
  - ・林業体験・椎茸栽培・野鳥観察
  - ・バードカービング・檜原米栽培
  - ・省エネチャレンジ(野菜作り)
  - ・すずの大豆栽培・豆腐作り
  - ・ヤマメの孵化 放流
  - ・ピオトープ・お茶・つるかご
  - ・むらさき(栽培・染め物)等

## ＜檜原小の目指す学校像＞ こんな学校に・・・

教職員と保護者、地域の方々が理解と信頼を深め、児童が学びを楽しみ、将来の夢に向かって生きる力を育む教育活動を推進する学校。

「学」校：自ら学び行動する力を育む学校

「楽」校：児童が学校生活を楽しみ輝くところ

「合」校：様々な人や学びと出会い、力を合わせて取り組むところ

## 生きる力

学びの、その先へ

### 個に応じた指導の充実(学力向上)

- ・授業のユニバーサルデザイン化  
授業の「山場」づくり
- ・主体的・対話的で深い学習
- ・個に応じた指導の工夫(算数科)
- ・言語活動・振り返りの重視(「書く」)
- ・ICT教育推進(タブレット活用等)
- ・読書活動の充実(親子読書週間)

### 特別支援教育体制の充実

- ・SC・心理士・特別支援教育専門員
- ・あきる野学園(センター校機能)
- ・特別支援教育関係諸機関との連携
- ・スクールサポートスタッフ
- ・あすなる教室 ・ステップ教室

### 「学校力」の向上

- ・OJTの充実→学び続ける教職員集団
- ・迅速で柔軟な組織的対応力
- ・サービスの厳正・体罰禁止
- ・予算の意図的計画的執行

### 体力向上プログラム

- ・100m走記録計測
- ・ロング遊び ・体育集会の工夫
- ・元気アップ(様々な運動との出会い)
- ・マラソン大会 ・駅伝大会(高)

### 保護者・地域との連携

- ・児童館、PTA、社会教育と連携
- ・ふるさと檜原学習(地域人材、教材)
- ・つなひき大会 ・消防写真会
- ・生活リズム確立(早寝早起き朝ごはん)
- ・家庭学習の習慣化(10分×学年)
- ・滝祭り出店(起業家模擬体験)

### 自分の安全と健康は自分で守る

- ・生活リズム点検 ・感染症対策
- ・ノーマディアウイーク
- ・歯磨き指導 ・保健集会
- ・引き渡し訓練やセーフティ教室
- ・避難訓練(警察・消防との連携)

自己有用感

自己肯定感

真の少人数教育

チーム檜原(教職員が人権を意識し、キャリア教育を推進)

【楽しく 安全・安心 自然の中で育つ檜原の子】